

令和6年度 オーストラリア研修

令和6年8月23日

大江・柴田

7月26日(金)から8月7日(水)まで13日間、2年生の希望者28人がオーストラリア、ジーロングにて海外研修に参加しました。ジーロングはオーストラリア南部のヴィクトリア州に属する、文化的な建築物、商業施設、美しい自然がバランスよく揃った、とても住み心地の良い街です。滞在したコヴェナント・カレッジは、幼稚園から高等部までが同じ敷地内にあるキリスト系の学校です。今回の研修では主に初等部・中等部さんの授業に参加させていただきました。教室内の様子も日本とかなり違っており、生徒たちは言語だけではなく文化面でも多くの驚きと学びを体験できました。

学校の説明を受けている様子 (右)



学校外の活動も多く、バス移動をしながら様々な体験ができる場所を訪れました。オーストラリア国内でも珍しい、カンガルーへの餌やりとふれあいができる動物公園や、ゴールドラッシュ時代の街並みを再現した観光地などに行きました。金塊を作る過程を見学したり、本物の炭鉱場所を案内してもらったりと、現地でしかできない体験ができ、生徒も非常に満足そうに過ごしていました。



バララットワイルドライフパーク (2枚)



ソブリンヒル (ゴールドラッシュ時代の街並み)



ジーロング美術館での実習



ジーロング・ベイの散歩



メルボルン美術館の見学

8月2日(金)夜に開催された SAYONARA パーティーにて、日本文化の発信も行いました。生徒たちは 5 グループに分かれ、各グループで書道、日本の漫画、日本の伝統的なスポーツ、昔の遊び、折り紙などが体験できるブースを用意しました。説明用の資料をしっかりと準備をした甲斐があり、どのグループも満遍なく楽しんでいただけたようでした。最後は参加していた全員で炭坑節を踊りました。生徒がとても上手に場を盛り上げてくれ、楽しいひと時を過ごすことができました。



日本のスポーツ紹介



学校でのブーメランづくり

ホームステイ先では、津島市観光協会からいただいた尾張津島天王祭のパンフレットとクリアファイル、そして津島毛織工業組合さんからいただいた尾州毛織物の端切れを授産施設にてペンケースにしたものをホストファミリーにお土産として渡しました。津島の歴史や文化について説明するのは大変だったようですが、実際に英語でやり取りする楽しさを知ることができたそうです。



ホームステイ先、学校、課外活動として訪れた場所のいずれにおいても、生徒たちは日本との違いに驚き、とても興味深そうにしていました。最初は見るばかりでしたが、日が経つにつれて授業で知り合った生徒とともに、休み時間中、芝生の上やバスケットボールコートで遊んだり、お菓子を食べたりしながら過ごす様子が見られました。ホームステイ先では、スポーツ観戦に連れて行っていただいたり、家事の手伝いをしたりと、英語漬けながら充実した日々を送ることができたそうです。最終日には「日本に帰りたくない」という生徒もたくさんおりました。「もっと英語を勉強して、ちゃんと感謝を伝えなかった」という声もあり、言語以外の生徒の成長をしみじみと感じました。今回の海外研修をきっかけに「また海外へ挑戦したい」という気持ちを育めたようで、教員としてたいへん嬉しかったです。

ホストファミリーへのサンキューカード (左)

この度、研修の運営に携わってくださった現地校の先生方や 13 日間のホームステイを快く受け入れてくださったホームステイ先の方々には、本当に多くの面で援助していただき、生徒たちはよい環境でたくさんのことを学ぶことができました。また、お土産品を提供してくださった津島市観光協会の方々、津島毛織工業協同組合の方々、その他関わったすべての方々にお礼を申し上げます。生徒たちもこの感謝の気持ちを忘れず、今回の研修で学んだことを活かして、これからも様々なことに挑戦してほしいと思います。